

■全国一斉「女性の人権ホットライン」(電話相談)

夫やパートナーからの暴力、職場などでのセクシュアル・ハラスメントなどの人権相談を電話で受け付け、人権侵害の疑いがある場合には、対策を講じます。

相談日時 11月15日(月)～21日(日)午前8時30分～午後7時(土・日曜日は午前10時～午後5時)

電話 0570-070-810

相談担当 人権擁護委員・法務局職員

問合せ 東京法務局人権擁護部第三課 ☎ 03-5213-1234

■子どもからの人権メッセージ発表会

羽村市の代表をはじめ、17市町村の子どもたちが、人権についてのさまざまな体験を元氣いっぱい発表します。

また、オープニングでは青梅児童合唱団のさわやかな歌声をお届けします。

日時 11月20日(土)午後1時30分～4時20分(午後1時開場)

会場 青梅市民会館ホール

入場料 無料

※直接会場へお越しください。

主催 多摩西人権啓発活動地域ネットワーク協議会

問合せ 青梅市生活安全課 ☎ 0428-122-1111

■公開講演会「お口の健康セミナー」

宝田恭子先生のアンチエイジング教室

日時 12月4日(土)午後7時～8時30分

会場 ゆとりぎ小ホール

入場料 無料

講師 宝田恭子さん(宝田歯科医院院長)

※直接会場へお越しください。

問合せ (社)東京都西多摩歯科医師会 ☎ 0428-23-6222

施設から

図書館

☎ 554-2280

児童文学講座「親子でかぐあそび」参加者募集

親子で楽しむかぐあそびの講座を行います。ぜひ、参加してください。

日時 11月27日(土)午後2時～4時

会場 図書館2階ボランティア室

対象 小・中学生とその保護者

定員 15組(市内在住の方を優先し、先着順)

費用 無料

内容 「ドライアイスであそぼう」

講師 塚原 博さん(羽村市図書館協議会会長)

申込み 11月17日(水)午前10時から、電話または直接図書館へ

保健センター

☎ 555-1111

妊婦歯科健診

妊娠中の歯周病などの予防と早期発見のため、歯科健診を受診しませんか。

実施期間 通年

対象 市内在住の妊娠中の方(妊娠中に1回のみ)

費用 無料

持ち物 母子健康手帳・健康保険証

受診方法 市内の実施歯科医療機関で予約後、受診

※実施歯科医療機関は、市ホームページをご覧ください。

第3回「羽衣の堰」歌謡コンテスト

「羽衣の堰」と「玉川上水」をうたった歌謡曲の「羽衣の堰」。郷土愛を深め、地域を活性化するため、「羽衣の堰」歌謡コンテスト(カラオケコンテスト)を行います。

日時 2月12日(土)午後2時～

会場 ゆとりぎ小ホール

定員 30人(申込多数の場合は抽選)

※プロの方は、参加できません。

参加費 3,000円

課題曲 「羽衣の堰」または音頭「羽衣の堰」(1・2番または1・3番)

※課題曲のみで、自由曲はありません。

賞 金・銀・銅・特別賞・参加賞

申込み・問合せ 1月7日(金)までに、羽村市商工会にある申込用紙に記入し、参加費を添えて、直接羽村市商工会(「羽衣の堰」歌謡コンテスト実行委員会)へ ☎ 555-6211

※現在、歯の治療中の方は受診できません。

胃がん・肺がん検診

日時 ①12月10日(金)②平成23年1月27日(木)いずれも午前7時30分～

会場 保健センター

対象 40歳以上の市民

定員 いずれも50人

費用 無料

内容

○胃がん検診：腹部間接レントゲン撮影

○肺がん検診：胸部直接レントゲン撮影

※聞き取りにより、喫煙者および血痰のある方には喀痰検査を行います。

次に該当する方は、受診できません

①妊娠中、妊娠の可能性のある方

②胃や肺に病気があり治療中の方

申込み 11月16日(火)午前8時30分から、電話または直接保健センターへ

羽村市
商工会

平成 22 年度 市政世論調査 調査結果

市では、市民 1,000 人を対象に「市政世論調査」を行いました。

この調査は、羽村市の今後の指針となる第五次羽村市長期総合計画の策定に先立ち、市民の意見・要望、市政への関心、市政および事業の評価などの市民の意識を統計的手法によつて的確に把握することを目的に行つたものです。

問合せ 広報広聴課市民相談係

【調査の概要】

対 象 市内在住の満 18 歳以上の男女 1,000 人
抽出方法 平成 22 年 5 月現在の住民基本台帳から層化二段無作為抽出
調査方法 郵送配布・郵送回収
調査期間 平成 22 年 5 月 24 日(月)～6 月 7 日(月)
※表、グラフ中の「n」は、各設問に対する回答者数を示しています。また、四捨五入の影響で、百分率を足し合わせても 100.0%にならない場合があります。

集計結果の概要

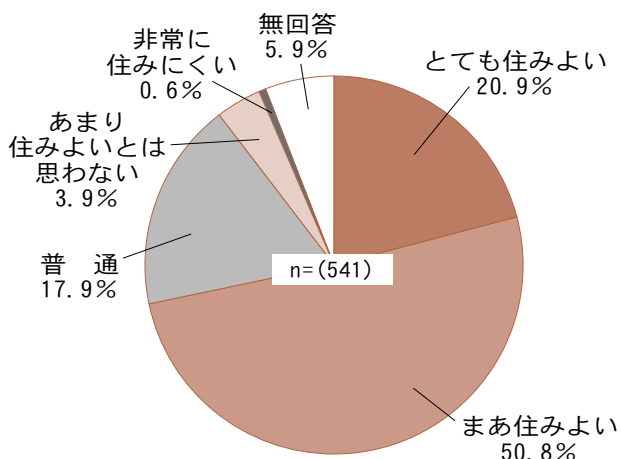
住みよさと定住性

■住みよさ

羽村市の住みよさについて聞いたところ、71・7%の人が『住みよい』（「とても住みよい」と「まあ住みよい」の合計）と答えています。

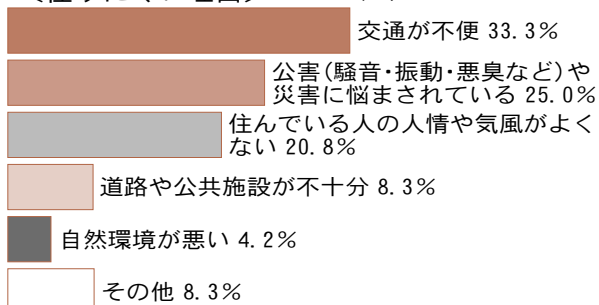
一方、『住みにくい』（「非常に住みにくい」と「あまり住みよいとは思わない」の合計）と答えた人は 4・5%でした。

問：あなたは羽村市を住みよいところだと思いますか。



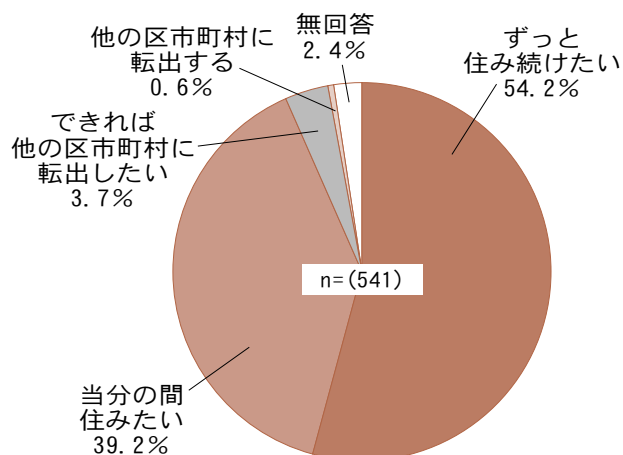
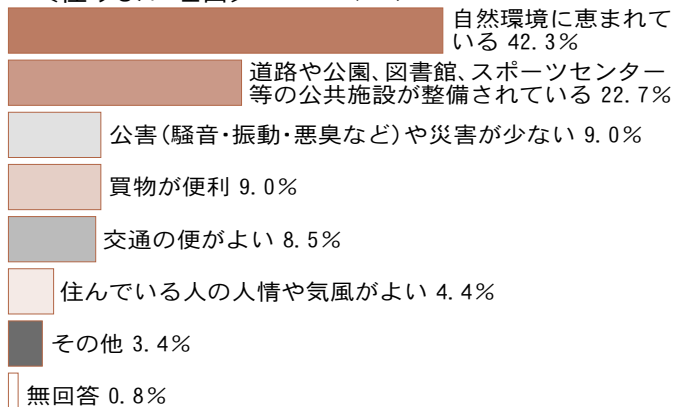
<住みにくい理由>

n=(24)



<住みよい理由>

n=(388)



問：あなたは今後も羽村市に住み続けたいと思いますか。それとも市外に転居したいと思いますか。

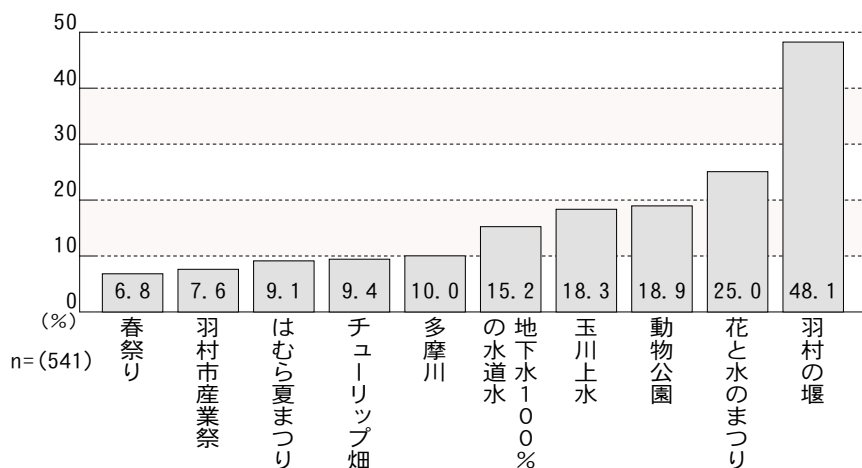
■定住性
羽村市に「ずっと住み続けたい」と思っている人は 50%を超え、「当分の間住みたい」と合わせると 93・4%に達しています。

◆ 羽村市の魅力

羽村らしさ

「羽村の堰」「花と水のまつり」「動物公園」に、羽村市の魅力や羽村らしさを感じている方が多いという結果となりました。

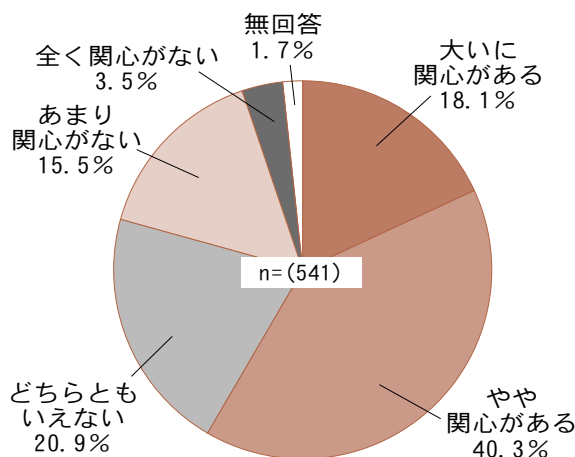
問：羽村市の施設や行事の中で、あなたが魅力や羽村らしさを感じるものはどれですか。
(回答は2つまで・上位10項目)



◆ 市政への関心度

「大いに関心がある」と「やや関心がある」の合計は58・4%で、半分以上の人が市政への関心を寄せています。

問：あなたは市政にどの程度関心を持っていますか。

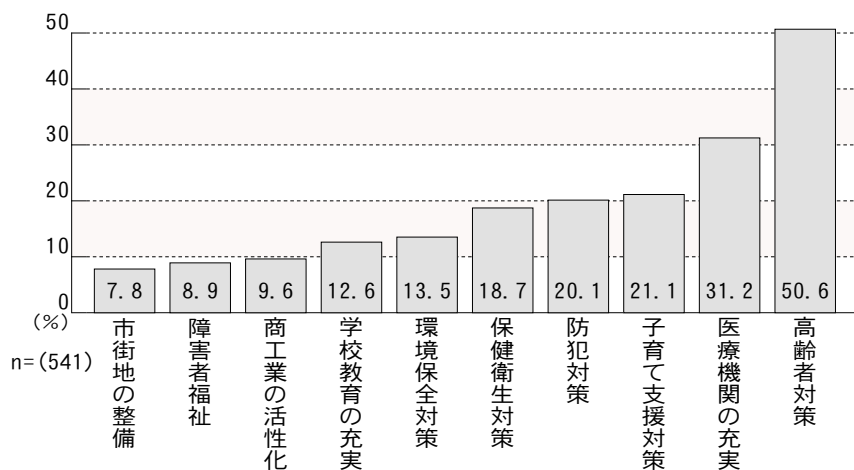
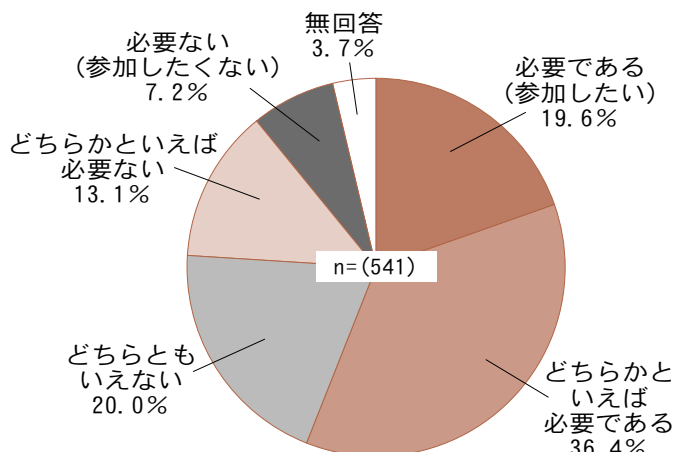


◆ 地域社会

町内会・自治会の必要性、活動への参加について、『必要である』（「必要である（参加したい）」と「どちらかといえば必要である」の合計）と答えた人は56・0%でした。

一方で、『必要ない』（「必要ない（参加したくない）」と「どちらかといえば必要ない」の合計）と答えた人は20・3%でした。

問：現在ある町内会・自治会の必要性、活動への参加について、あなたはどのように考えますか。

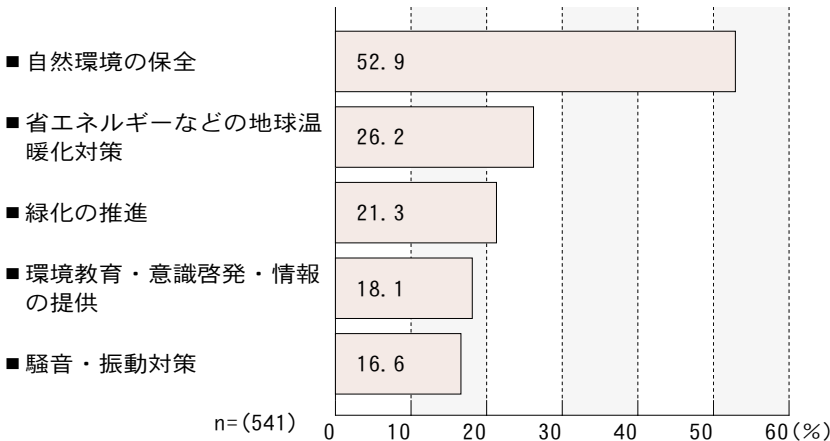


問：力を入れてほしい、新たに組みこんでほしい施策は。
(回答は3つまで・上位10項目)

環境

環境への取り組みで重点をおくべきものでは、「自然環境の保全」が52・9％で、最も多くの人が望んでいます。次いで「省エネルギーなどの地球温暖化対策」(26・2％)、「緑化の推進」(21・3％)と続いています。

問：環境への取り組みとして何に重点をおくべきと思いますか。(回答は2つまで・上位5項目)

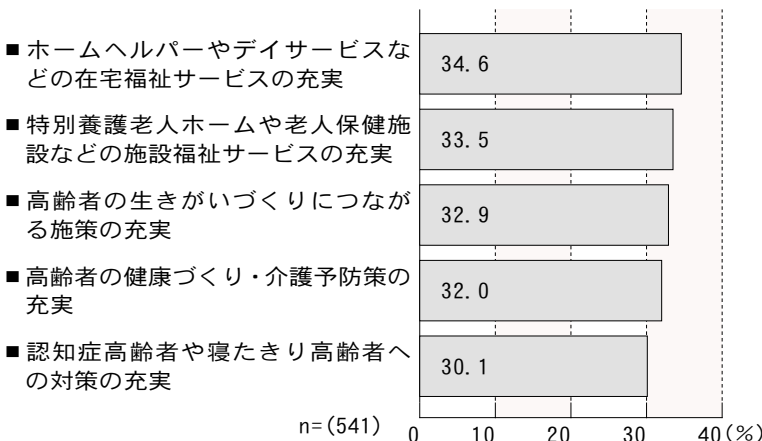


福祉

■ 高齢者福祉施策

市に力を入れてほしい高齢者福祉施策は、在宅福祉サービスの充実が34・6％と最も高く、施設福祉サービスの充実(33・5％)、生きがいづくり施策の充実(32・9％)、介護予防策の充実(32・0％)、認知症高齢者や寝たきり高齢者への対策の充実(30・1％)と続いています。

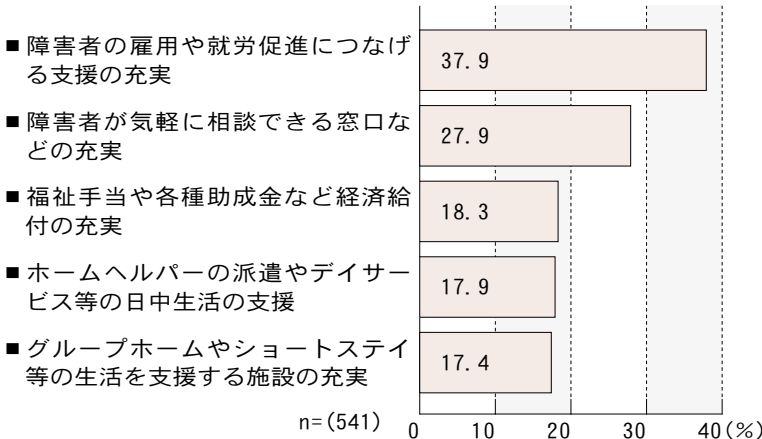
問：高齢社会を迎え、介護保険をはじめ、高齢福祉サービスの充実が求められている中、市に力を入れてほしい施策は。(回答は2つまで・上位5項目)



■ 障害者福祉施策

今後必要だと思う障害者福祉施策は、「障害者の雇用や就労促進につながる支援の充実」が37・9％と最も高くなりました。「障害者が気軽に相談できる窓口などの充実」(27・9％)、「福祉手当や各種助成金など経済給付の充実」(18・3％)と続いています。

問：今後必要だと思う障害者施策は。(回答は2つまで・上位5項目)



防災・防犯対策

■ 防災対策における重点施策

「食料や飲料水、毛布などの備蓄品の充実」(22・4％)、「災害時の情報連絡体制の充実」(18・3％)が上位を占めています。

問：防災対策の中で市が特に重点を置いて進めるべきだと思うものは。(上位5項目)

